

武蔵大学東西文化融合史研究会第1回例会 「キリスト教と東アジア：日欧の信仰と文化の相克・融合」 を開催

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋德行）は、2022年6月に発足した武蔵大学東西文化融合史研究会の第1回例会を9月23日（金・祝）に公開形式で開催します。本会は東西文化の融合の歴史と現況に関する調査研究を行い、学術研究の推進と東西世界の相互理解の深化を目的としています。今回の共通テーマは「キリスト教と東アジア：日欧の信仰と文化の相克・融合」と題し、報告者は東洋大学名誉教授の神田千里氏と学習院女子大学名誉教授の根占献一氏です。参加費は無料でどなたでもご参加いただけます。

武蔵大学東西文化融合史研究会 第1回例会の概要

近世とりわけ16世紀の日本人はヨーロッパから伝来したキリスト教（カトリシズム）とどのように向き合い、内面的な変化を遂げたのか、あるいは古い思想や信仰を保ったのかを具体例に即して考察し、日本の地で起きた東西思想の相克と融合の歴史の一端を明らかにします。

概要

- 日 時：2022年9月23日（金・祝） 14：00～17：00
- 開催方法：Zoomによるオンライン配信（Zoom参加に係る技術的サポートはございません。）
- 申込締切：9月15日（木）※事前申込制
- お申込み：下記Webサイトをご覧ください。

<https://www.musashi.ac.jp/sougou/news/research0923.html>

プログラム（以下、敬称略）

14：00～14：10 開会の挨拶

研究会代表 踊共二（武蔵大学教授）

14：10～15：20 第1報告

神田千里（東洋大学名誉教授）「16世紀日本人のキリスト教受容」

15：20～16：30 第2報告

根占献一（学習院女子大学名誉教授）「靈魂不滅：東西の歴史的邂逅から」

16：10～17：00 質疑応答

17：00 閉会の挨拶

第2回研究会のご案内

—研究会に関する問い合わせ先—

武蔵大学研究支援課（事務局） TEL: 03-5984-3735 FAX: 03-5984-3775

—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学広報部

TEL: 03-5984-3813 E-mail: pubg-r@sec.musashi.ac.jp

2022年4月17日、武蔵学園は創立100周年を迎えました

■武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えるこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上1-26-1